



高齢者や地域の困りごとは、なんだろう？  
今あるものの活用・ないけど欲しいもの・あまり負担にならずに  
やれる方法などなど…たくさんたくさん話しあいました。  
そして、いろんな活動につなげていっています。

高齢者の居場所ってどんなものがあるの？  
どのくらいあるの？

実際に調べてみよう！  
ふれあいサロン、体操、老人クラブ…たくさんあるから、  
わかりやすくしたい。



マップを見て「自分の地区にサロンがない！」と気づき、各地区でサロン立ち上げ多数!!

いってんべえマップ発行



認知症徘徊模擬訓練に参加して。

講座を受けたけど、とっさに声かけられるか心配…。小さい頃から、認知症やお年寄りのことを分かって欲しい。わかりやすく伝えたい。

認知症サポーター講座で寸劇を演じることに。  
幼稚園～中学校まで、地域のサロンや区の集まりでも！



オレのイキガイ

工夫をこらした寸劇は演じるのも楽しい!!



コロナ禍  
思うようにサロン活動や人と会えなくなった。一気に老け込む人が増えてヨボヨボになっちゃう!!

なんとか声かけできないか？  
怖がり過ぎて動けない、どうしたらいい？

「ささえ愛だより」を緊急発行！  
「コロナ対策」「七夕にみんなの願いを短冊に」など。サロンの方に手渡しがてら安否確認の声かけをお願いした。

工夫した活動を展開するサロンも出てきたよ

感染防止に気を配りながら活動を再開できるよう、「正しく恐れて正しく集う」講演会を実施！



やったらみんなよろこんでくれたよ

買い物行くのに店まで遠い。  
車の運転は危ないしどうしたらいい？

高齢化が進む地域では、日々の買出しもままならない現状がある。なんとか移動販売車などで買い物支援ができないか？  
と、同時に高齢者の見守りも必須だ!

みんなの声が町に届き移動販売車「うえたん号」の運行が、令和4年11月よりスタート!



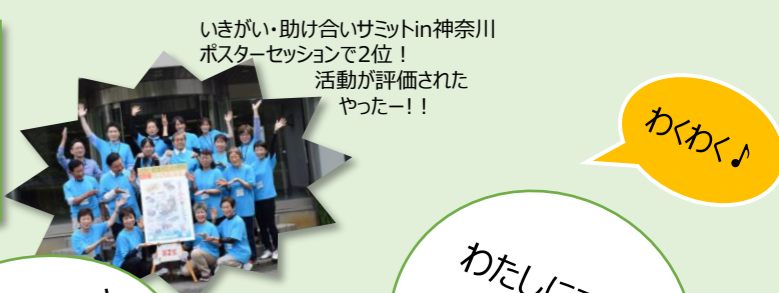
この近所にもいませよ〜



長瀬の協議体ならではの活動が、どんどんできてきたね！  
課題を見つけ、話し合った結論を**実現させていく**  
大変だけど、面倒だけど、実現させたときの喜びは、協議体委員も実感しているよ!

# 好循環を回していこう！

～ どんどん みんなを巻き込んで ～



いきがい・助け合いサミットin神奈川  
ポスターセッションで2位！  
活動が評価された  
やったー!!

わくわく!



最初は「何をしたいかわからず不安」だったり「なんで自分が?」というやらされ感が大きかった協議体活動。ひとつひとつ、勉強し考えて話し合いを重ねていった。色んな案をひねり出し、実行していくと、反響がたくさんあり『よかったよ〜!』『楽しかったよ!』『また集まりたい』などなど…。それが協議体委員の喜びにつながっていった。そしてだんだんと、「私にも何かできることはないか?」「手伝いたい」「もっとこう、やりたい」など、「自分ができることは、どんどんやってみよう」という、積極的な気持ちが湧いてきた。まさに「好循環～スパイラル・アップ」こうして、私たち協議体委員も日々成長させてもらっていると感じています。大変だけど、楽しんで面白がって活動しよう! やっている人が楽しければ、自然と人が寄ってくる、共感する! **レッツ エンジョイ ながとろライフ!**

